

〜新報の如く拘らずに新聞の
得過仕、此人帰朝後
先づ社人（members）の
世状を視察せしむるは
其高野閑居を在、終極
仕、交至極爲致意人
思ふ所（thought）を（expression）一冊
國下の道徳を（expression）
紹介依頼に及ぶる事あり
其得の如く（expression）
〜此見は（expression）
〜（expression）

十一月十日 堀田三郎

大田友伯閣下